会 議 録

会議名	道明寺こども園 住民説明会
日時・場所	平成 30 年 7 月 5 日(木) 10:00~11:40 道明寺こども園 遊戯室
出席者	○総務部 資産活用課 中村課長代理、○こども・健康部 こども政策課 武廣課長、浜平チーフ、南口主事補○こども・健康部 保育幼稚園課 白江次長兼課長、大家課長代理、 柿原主幹、佐伯チーフ○教育部 学校教育課 重尾課長代理、高橋主幹
対 象 者	在園児保護者、あひる組保護者、周辺地域住民など 24名 (当日受付。事前申込なし。)
説明内容	藤井寺市立幼稚園・保育所再編実行計画について、在園児の保護者、現在あひる組の申込みをされている保護者、来年度あひる組を考えられている保護者、道明寺こども園近隣にお住いの住民の方々に対し、計画の要旨、事由、概要、今後の流れについての説明を行った。
資 料	○藤井寺市立幼稚園・保育所再編実行計画についての保護者説明会 資料
要。録	
部会長	《藤井寺市立幼稚園・保育所のあり方検討部会 部会長挨拶》
事務局	《担当職員紹介》
事務局	資料説明 :藤井寺市立幼稚園・保育所再編実行計画についての概要
	《質疑応答》
*	公立幼稚園の利用者が減少した原因と保育所の利用者が増加した原因は何だと考えているか。また、資料上の今後の幼稚園と保育所の利用者数推計のグラフだが何を根拠に、幼稚園利用者は減少し、保育所利用者は増加するとしているのか。
事務局	公立幼稚園利用者の減少と保育所利用者の増加の原因は、いろいろあると思うが、社会情勢の変化や家族構成の変化により共働き家庭や核家族化が進んだことが考えられる。働いている方にとっては、幼稚園の開園時間では利用しづらい状況であるため幼稚園の利用者は減少し、核家族化や共働き家庭が増加すると長時間預かってもらえる保育所に人が流れるため、保育所の利用者が増加したと考えられる。利用者推計については、過去の減少率を参考に算出した。

※ 民間の幼稚園と公立幼稚園の在籍園児の実態はどうなっているのか。

事務局

民間幼稚園でいうと、例えばカトリック幼稚園などでも児童数は減少傾向にあり、今後も同じ幼稚園の形態では難しいとのことで、保育の児童も取り入れていきたいとの話を聞いている。公立幼稚園については、家庭状況の変化などから減少していっており保育所が増加している。

※ 公立幼稚園の人気が無くなってきている原因は何だと市は考えているのか。公立幼稚園を全てなくすことを決めた市もある中、藤井寺市は統廃合を実施し公立幼稚園を残すが、公立幼稚園の良さを何だと考え、残すことにしたのか。また公立幼稚園の良さが伝わっていないから園児が減ってきているとは考えていないのか。

事務局

小学校の横に幼稚園があることが大きな利点の一つだと市も認識している。しかし、このままいくと休園措置を取らなければならないほど人数が減ってきているため、新たに4地域に幼稚園をまとめる計画を出させていただいた。新しい体制に移るにあたり、今までと全く同じようにはいかないかもしれないが、小学校との連携等、公立幼稚園の良さをできる限り引き継いでいきたいと考えている。

また、藤井寺市としては公立幼稚園を全て無くそうと考えているわけではない。今回の計画は今後幼稚園をどうしていくかの結輪を出す前段階であり、今後有識者の方や現場の先生方を招いた専門的な審議にかけ、今の幼稚園の形態を続けていくのか、新しい役割として特別な支援が必要な児童を率先して受け入れる施設に特化するのかなど、公立幼稚園の役割について結論を出していく予定である。

※ 3年保育はしないのか。子育てがしやすい町づくりを行い、転居者が増えるような政策をしてほしい。また、集団教育の望ましい人数が 20 人とのことだが、 昔は約40人で保育しており、多すぎると判断されたことから20人となっているだけであり、適正な人数が20人であるということではないと思う。

事務局

就園率の向上を目指し預かり保育を実施することで、働いている保護者に対しての支援になると考えている。また、部会では3年保育についての話も出ていたが、まだ市として答えを出していない状況である。公立で3年保育を実施すると民間に大きな影響を与えることになる。行政としては公立も民間も両立していかなければならないため、今すぐに結論を出すことはできない。時間をかけて考える必要があると認識している。

集団の人数の件については、あくまで理想的な人数が 20 人から 30 人と考えており、そこに近づけたいと思っている。

転入者を増やす取り組みについては、一例になってしまうが、民間で駅前に大型スーパーの建設が予定されていたり、平成32年にふじみ緑地に定員150人の

保育施設の新設が予定されたりしている。また、昨年度から新居の住居費や引っ越し費用の一部補助制度が行われている。

※ 道明寺東幼稚園に通園させる予定だった。以前は小学校の隣に幼稚園があったため、公立に行かせれば同じ小学校に入学する友人が作りやすい状況であった。しかし、統廃合で近くに幼稚園が無くなり同じ小学校に上がる同年代の子ども達のほとんどが私立に入園することになった場合、子どもに友人を作ってあげるためには私立に行かせる選択肢しかなくなってしまうのはおかしい。

道明寺東幼稚園がこども園になれば、保育所のニーズも満たせる上、道明寺東 幼稚園区に幼稚園が残ることになるので良いのではないか。また、地元で育った 保護者以外が同年代の子ども達と交流できる場所が少ない。

事務局

こども園の新設や公立幼稚園のこども園化には市として非常に大きな決断となるため、この場ではすぐにお答えできない。この件に関しては、後期計画で話し合われる予定である。

親子同士の交流の輪を広げる政策として、地域子育て拠点事業は確かに藤井寺側にあり道明寺側での実施はひかりこども園だけである。事業を行っていただける団体や場所的な問題から藤井寺側にあり申し訳ないが、現段階ではそちらをご利用いただくしかない状況である。

※ 道明寺東小学校区の園児が少人数であっても、道明寺東小学校との連携は無くならないのか。統合により通園距離が遠くなることも不安である。バスなどは検討されないのか。

事務局 現段階で、市がバスを用意する予定はない。

学校教育課

小学校との連携については、人数が少ないからといって交流をなくすことは考えていない。小学校との連携は小学校に上がる時の、段差の解消として大切なことだと考えているので、良い部分を無くさないよう努めていきたいと思っている。

※ 川北から来ている子はタクシーが出ていたそうだが、道明寺側でも導入されないのか。

保育幼稚園課

川北分園の休園措置としてタクシーは導入されていた。以前は小学校まで行くバスに乗せてもらい通園していたが、こども園ができ、場所が変わったため、小学生が遅刻してしまうという関係があったためタクシー送迎という形になった。川北はかなり遠い距離であったためだが、今後検討していかなければならないことの一つと考えている。また通園路における通園時の安全性は、幼稚園は小学校の通学路に準じ設定しているが危険な個所は、改善要望を出すなどして警察とも協力しながら、幼稚園の通園路についても確保していかなければならないと思っ

ている。地域の仲間づくりの件に関しては、幼稚園や保育所の園庭開放やきらり キッズ、わんぱく広場等を各園で実施しており、広報でお知らせもしているので 活用していただきたい。

- ※ 公立の幼稚園を待っている子どもが遊べるような場所がない。説明にあったような施設で共に遊んでいたとしても、同じ幼稚園に通っていなければ小学校に上がる時には忘れてしまう。
- ※ 子持ちの親に長時間移動することを強要している自覚が市にはあるのか。なん とか統合せずに3歳保育をしてほしい。
- 事務局 こちらで出た意見は市の上層部にも伝えさせていただく。通園距離に関しては 申し訳ないと思っている。
 - ※ 統合時期は平成32年度と33年度とのことだが、この時期はどのように決まったのか。なぜ、藤井寺西幼稚園、野中分園、道明寺東幼稚園、藤井寺北幼稚園が統合されることになったのか。市としてこの方針で進めていくのは決定なのか。
- 事務局 市としての考え方は、今お示ししている通りである。年度等の件については、 少人数で保育する良さもあるかとは思うが、藤井寺市が目指す集団教育には一定 数の人数が必要であると考えており、学級人数の拡充がこの計画の一番の趣旨で ある。今の園は予断を許さない危機的状況であると認識しており、耐震化工事も 含め最短のスケジュールで行いたいとの思いがあり、この時期に設定させていた だいた。
 - ※ 議会に対する提案はしているのか。
- 事務局 │ 議会報告はすでに行っている。また、計画の策定に議決は必要ではない。
 - ※ 教育委員会会議の方で統廃合について論議が行われると思うが、そこに提案されるのはいつになるのか。
- 事務局 まだ計画は案の状態であり、7月いっぱいはパブリックコメントを募集している状態であるため、教育委員会会議に諮る具体的な時期は未定である。
 - ※ その会議の会議録などは公開なのか。非公開なのか。
- 学校教育課 会議の中身等については市ホームページで公開させていただいている。
 - ※ 生で会議を見ることは可能か。

学校教育課

それはできなかったかと思うが、はっきりと把握していない。

※ 少人数保育を否定し統合に走っている気がする。少子化が問題視されているのなら、少人数保育が可能な環境をどのように充実していくかを考えるべきではないか。少子化対策はどのように行っていくつもりなのか。統合したからといって人数が維持される保障はない。また、4園を選んだ理由の回答を頂きたい。

事務局

4 園を選んだ理由としては、これが全てではないが、もともと藤井寺市を 4 地域に分け、各地域にある行政機関の再編を考える「都市マスタープラン」と、通園距離を考えた結果である。

- ※ 広報の載せ方が分かりにくい。幼稚園に関係することなのに、子育て関係のことが書かれているページと離れてしまっている。載せられている記事も小さく目にとまりにくい。市から広報に時間が無かったため小さいスペースしか確保できなかったと説明されたが、このような重大な案件なのにその場しのぎの対応すぎる。説明会のお知らせも広報に載せて知らせるべきだったのではないか。
- ※ 説明会の時間帯も働いておられる保護者が参加できる時間帯ではない。もっと 大きい会場で、夜や休日に実施すべきだったのではないか。共産党の議員の要請 で説明会を開いたのか。

事務局

特定の政党からの要望があったために説明会を実施したわけではない。説明会の開催時間に関しては、各幼稚園で未就園児を対象に行われているあひる組に通われている保護者が説明を聞きやすいようにするために、この時間帯で設定させていただいた。広報については、少しでも早い段階でお伝えできる部分を広報に載せ、お知らせしたかった。説明会については、幼稚園に関係する保護者の方のみでなく、地域の方たちにも大切な話であると認識している。

※ 少人数では集団教育が維持できない理由は何か。

学校教育課

少人数教育であると丁寧に子ども達を見たり、細心の注意を払えたりするため、良い部分があることも認識はしている。しかし、集団による教育の効果も大切であると考えている。小学校に上がる際さらに人数が増えるが、その集団の中で生活していく基礎力を、幼稚園で一定人数の中で向上させていこうとしている。

※ では、小学校や中学校を少人数で運営されている所は駄目だということか。少 人数だからといって統合するのはおかしいのではないか。

学校教育課

町村であれば、工夫して教育効果を高められているとは思う。しかし、藤井寺 市では小学校にあがれば多人数で授業を受けることにもなるうえ、幼児にとって も多人数で関わることから学ぶことも多いと思う。少人数で教育を行っておられる小学校などを否定するつもりはないが、藤井寺市としては集団であることで得られる集団教育の効果を重視しており高めていきたいと思っている。

※ 統合前に園児を増やす取り組みを行い、それでも減少したときにはじめて統合 の話が出てくるべきではないか。順番が逆だと思う。統合には反対である。生活 が変わってしまう家庭があることを理解したうえでの統合計画なのか。この計画 はもう決定なのか。

事務局 計画の策定はまだである。パブリックコメントや説明会等でいただいた意見を 集約して、最終市の内部で話し合い策定となるため、計画が変わる可能性はある。

※ 私立の願書提出や公立幼稚園の入園申込が迫っているが、正式に計画が策定されるのはいつなのか。

事務局 具体的な日付は未定であるが、幼稚園の申し込み時期が迫っているため、そこ に間に合うように策定を急いでいる所である。

※ 計画の策定に、議会の承認は必要ないのか。

事務局 計画の策定に関して、議会における議決は必要ない。仮に廃園することになれば教育委員会会議に諮り、条例、規則の改正となるため議会に通すことになる。

※ 道明寺こども園ができる時にも、きちんとした説明がないという意見が出ていたが今も同じような意見が出ている。全く前回の意見が生かされていないと感じる。入れる側としてはきちんと説明していただきたいし、そのような対応はどうなのかと思う。

保育幼稚園課

事務局

道明寺こども園は、運営部分を完全に決めきれていない中で開園時期だけが迫っている状態で、検討するとの回答しかできないまま開園となった。現在は幼稚園と保育所が1つの敷地内で並立しており、互いに連携しながら運営をさせていただているが、開園前にこのようなことを説明できなかったことは事実である。ただ今回は幼稚園同士の説明なのでまた別の話になってくるかと思う。

※ このような説明会を開く時期が遅いのではないか。

道明寺こども園の時と同じではないかとのお叱りの言葉をいただき、申し訳ないと思っている。今後できるだけ保護者や地域の方たちのご意見を聞き進めていきたいと思っている。公立幼稚園が必要であるからこそ今回の再編計画を出させていただいていることを、どうかご理解いただきたい。

※ 計画が変わるのであれば、こども園化を考えてほしい。藤井寺市は他市と比べ 色々な計画や建設が遅れているように感じる。はっきりしたことが分かり次第伝 えてほしい。色々な政策を実施していると言われるが、他市と比べて藤井寺市は 遅れている。設備や遊ぶ場所を整えてほしい。

事務局

いただいたご意見については、報告させていただく。こども園については、今回の計画とは分けて考えている。もしこの計画が白紙に戻れば、再度検討することになるためこども園についても検討されることになると思う。市としては現段階でお示ししている計画を進めることを考えている。

【要点筆記】

以上